

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)海老名市障害者第三サービスセンター(あきほ)建設工事	階数	地上2F
建設地	海老名市上今泉六丁目315番2、354番2	構造	S造
用途地域	都市計画区域内、市街化調整区域	平均居住人員	120人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,960時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	2016年12月18日
敷地面積	2,381 m ²	作成者	株式会社 楠山設計
建築面積	1,179 m ²	確認日	2016年12月18日
延床面積	2,186 m ²	確認者	株式会社 楠山設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	建物内部は利用者の健康・快適さ、外部は環境配慮を重視した設計になっている。	その他 特になし。
Q1 室内環境	高い外皮性能、昼光率、自然換気性能を有し、利用者の健康・快適さに配慮した計画を行っている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内の緑化により、緑量の確保および暑熱環境の緩和に努めている。
LR1 エネルギー	LED照明器具採用による消費電力の低減に努めている。	LR3 敷地外環境 屋外照明および屋内照明のうち外に漏れる光について配慮がなされ、光害の抑制に努めている。
Q2 サービス性能	天井高さ2.5mにより、開放感および空間にゆとりのある計画となっている。また、耐用年数の長い部材を採用している。	
LR2 資源・マテリアル	節水型便器の採用による資源の浪費を抑えている。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される